

厚生労働記者会・厚生日比谷クラブ  
文部科学記者会・科学記者会 同時発表

2022年5月11日  
横浜市立大学

## 患者中心のプライマリ・ケア評価尺度の日本版を開発

横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 金子惇講師らの研究グループは、プライマリ・ケア\*1の質評価尺度 PCPCM (Person-Centered Primary Care Measure) の日本版を開発しました。これは患者さんの視点からプライマリ・ケアの医療機関の質を評価する質問紙で、米国で開発され 28 か国語に翻訳されています。この質問紙は、11 項目という少ない質問数でプライマリ・ケアにとって重要な 11 の領域を評価できる点、プライマリ・ケアの質を国際的に比較出来る点が特徴となっています。今後はこの質問紙を用いて、国内の各地域や日本と他国のプライマリ・ケアの質を比較し、質改善に繋げていく予定です。(図 1)

本研究成果は、国際誌「BMC Primary Care」に掲載されました。(2022年5月10日)

### 研究成果のポイント

- 2019 年に米国で発表され、今後世界的に広く用いられる可能性が高いプライマリ・ケア質評価尺度 PCPCM の日本版を開発した。
- 質問紙は 11 項目という少ない質問数でプライマリ・ケアにとって重要な 11 の領域を評価することが可能であり、日常診療の中で利用しやすい尺度となっている。
- 28 か国語に翻訳されており、項目も同一のため、日本と他国のプライマリ・ケアを比較しその特徴を記述することができる。
- 先行研究の結果に当てはめると日本の PCPCM 得点は OECD 加盟 35 か国中 28 位であり、継続性・家族や地域の状況を考慮したケアの得点が低い傾向が判明した。

PCPCM日本語版の概要	
ステップ1. 「体調が悪いときや健康について相談したいときに、いつも受診する医療機関はありますか? はい/いいえ」について「はい」と答えた方はその医療機関について以下の質問に答えてください。 ※日本では、プライマリ・ケア医への登録制度が無く患者さんが自由に医療機関を選べます。従って最初上記の質問を行い、「はい」と答えた方を対象に、その医療機関について回答して頂く形式となっています。	
ステップ2. 以下の項目について「確実にそうだ ほとんどそうだ ままあそうだ そうではない」のいずれかを選択してください。	
ケアへのアクセス	医師やスタッフは、私が受診しやすくしてくれている
ケアの包括性	医師やスタッフは、必要なケア(診断、治療、指導、アドバイスなど)のほとんどを提供できる
ケアの統合	私をケアするに当たって、医師やスタッフは私の健康に影響する全ての事を考えてくれる
ケアの調整	医師やスタッフは、他の場所から受けているケアについても配慮し調整してくれる
医療者と患者の関係性	医師やスタッフは、私を一人の人として認識している
ケアの継続性	医師やスタッフは、私と共に多くのことを経験してきた
アドボカシー	医師やスタッフは、私が困ったときに守ってくれる
家族状況を考慮したケア	私が受けているケアは私の家族についても考慮されている
地域状況を考慮したケア	私が受けているケアは私が住んでいる地域のことも考慮されている
目標志向のケア	医師やスタッフは継続的に、健康についての目標を達成するのを支援してくれる
健康増進	医師やスタッフは継続的に、健康でいられるように支援してくれる
各項目1点から4点で評価され4点が満点、総合得点には各項目の平均値を用います	

図 1 PCPCM 日本版の概要

## 研究背景

プライマリ・ケアは医療資源の有効利用や健康格差の是正の役割を果たしており、各国の医療システムの中で重要な位置を占めています。しかし、プライマリ・ケアが扱う領域は病気に至る前の状態での健康相談、予防医療、患者さん個人だけでなくその家族や地域を対象とした健康に関する活動など幅が広いいためその全てを評価しようとする項目が多くなってしまい、実用的でなくなってしまうという問題がありました。

プライマリ・ケアの質をどの様に評価するかが全世界的に課題となっている中で、米国の研究者らが患者さん、医療者、政策決定者らと「患者中心のプライマリ・ケア評価尺度」(Person-Centered Primary Care Measure: 以下 PCPCM)を開発しました。この PCPCM はプライマリ・ケアにとって重要とされるケアへのアクセス、ケアの包括性、ケアの統合、ケアの調整、医療者と患者の関係性、ケアの継続性、アドボカシー、家族状況を考慮したケア、地域状況を考慮したケア、目標志向のケア、健康増進の 11 項目を 11 の質問で測定できることが特徴となっています。日本でもこれまで別のプライマリ・ケア質評価尺度が作成され用いられていますが、より少ない項目でより多くのプライマリ・ケアの要素を測定できる PCPCM 日本版の作成には意義があると考えました。

## 研究内容

本研究では、横浜市に在住の 20-74 歳の方 1,000 名を無作為に抽出し、郵送で質問紙を送り回答して頂きました。41.7%の方に回答して頂き、PCPCM の平均点は 2.59 点でした (4 点満点)。この得点を元に OECD 加盟 35 か国を対象として行われた先行研究と比較すると 35 か国中 28 位であり、現在の日本のプライマリ・ケアの質を表す目安の一つとなると考えられます。また、項目別の得点 (それぞれ 4 点満点) では、ケアへのアクセス (2.98)、ケアの包括性 (2.98)、ケアの統合 (2.66)、ケアの調整 (2.56)、医療者と患者の関係性 (3.16)、ケアの継続性 (2.14)、アドボカシー (2.48)、家族状況を考慮したケア (2.18)、地域状況を考慮したケア (2.12)、目標志向のケア (2.57)、健康増進 (2.68) であり、ケアの継続性、家族や地域の状況を考慮したケアの得点が低い傾向にありました。これは日本のプライマリ・ケアの特徴と考えられると同時に、米国でも同様の傾向が見られており他国でも共通の課題である可能性があります。

本研究では PCPCM の得点及び同時に調査した他のプライマリ・ケア評価尺度の得点から、尺度としての信頼性・妥当性を算出しており、日本版として使用するのに十分であることを確認しています。米国の原著者らが翻訳した日本語版も当初存在しましたが、日本語表現が分かりにくい部分があり、日本の患者さんにインタビューを行い理解しやすさを確認した本研究のものが正式な PCPCM 日本版として原著者らのウェブサイトに掲載されています。  
<原著者らのウェブサイト>

<https://www.green-center.org/pcpcm>

## 今後の展開

PCPCM は比較的新しい評価尺度ですが、今後世界中でプライマリ・ケアの質評価に用いられる可能性が高いので、他国と比較した時の日本のプライマリ・ケアの特徴を記述する国際共同研究に繋げていければと考えております。また、少ない質問項目で多くの領域を評価できるので、国内の地域ごとの比較や日常診療の中での質改善にも有用と考えています。

また、上述の原著者らのウェブサイトから日本版がダウンロードできることに加えて、下記の本研究室のウェブサイトから日本版使用マニュアルを配布し、今後の利用に役立てていただく予定です。

<研究室の Web サイト>

<https://pcru-kanekolab.studio.site/>

## 研究費

本研究は、横浜市立大学学長裁量事業 第 5 期戦略的研究推進事業の支援を受けて実施されました。

## 論文情報

タイトル：Development and validation of a Japanese version of the Person-Centered Primary Care Measure

著者：Makoto Kaneko, Tadao Okada, Takuya Aoki, Machiko Inoue, Takamasa Watanabe, Makoto Kuroki, Daichi Hayashi, Masato Matsushima

掲載雑誌：BMC Primary Care

DOI：10.1186/s12875-022-01726-7

**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS** 横浜市立大学は、  
様々な取り組みを  
通じてSDGsの達  
成を目指します。



## 用語説明

\*1 プライマリ・ケア：「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」（日本プライマリ・ケア連合学会ウェブサイトより

(<https://www.primary-care.or.jp/public/index.html>)